成果と課題及び指導改善のポイント

中学校国語（中学１年生、中学２年生）

中学１年生で成果が見られた設問（◇）と課題が見られた設問（◆）及び 出題の趣旨

◇	集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にして書く	設問2五
◇	文章の構成や展開を捉える	設問3二
◆	伝えたい事実が伝わる文章になるように工夫する	設問2二
◆	語句の辞書的な意味を踏まえて、文脈上の意味を捉える	設問4一

中学２年生で成果が見られた設問（◇）と課題が見られた設問（◆）及び 出題の趣旨

◇	互いの立場や考えを明確にしながら話し合い、自分の考えをまとめる	設問1三
◇	自分の考えが伝わる文章になるように、具体例を加えて書く	設問3六
◆	文章の中心的な部分と付加的な部分との関係について叙述を基に捉える	設問4三
◆	文脈の中で語句を正しく使う（同訓異字）	設問6三

中学校国語の課題に対応した指導改善のポイント（☑してみましょう。）

■「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する設問に課題が見られました。課題の一つである、文脈の中で語句の意味を捉えたり正しく使ったりするなどの語彙力を高めるために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。

□語句が話や文脈の中でどのように使用されているのか、辞書で意味を確認するだけでなく、日常的に使いこなせるように、具体的な使用例を考えて短文を作るなど、語句を実際に使用する活動を設定している。

□取り上げようとする語句について、ほかに適切な表現がないかを考えたり、複数の語句を比較してどの語句が最もふさわしいかをグループで検討したりして、語感を磨く活動を設定している。

□同音異義語や同訓異字については、漢字のもつ意味や前後の文脈、その漢字を使った熟語などに着目して、使い分けを捉える場面を設定している。

☞ 正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

県

令和２年度 佐賀県小・中学校学習状況調査　　中学校調査
設問別調査結果[国語]１年
中学校ー生徒

集計結果　　※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準（おおむね達成）	到達状況
				59.5	
県	7,030	62.7	3.1		

※ 県の結果には，「未履修：１なし」かつ「集計対象：１対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数（問）	正答率		無解答率		到達基準（おおむね達成）	到達状況
				県		県		
学習指導要領の内容・領域等	言語の特徴や使い方に関する事項	5		61.3		0.9	62.0	▼
	話すこと・聞くこと	5		65.0		2.2	62.0	
	書くこと	5		66.8		4.2	58.0	
	読むこと	5		57.6		5.1	56.0	
評価の観点	知識・技能	5		61.3		0.9	62.0	▼
	思考・判断・表現	15		63.1		3.8	58.7	
問題形式	選択式	13		67.4		0.7	63.8	
	短答式	1		63.7		7.6	50.0	
	記述式	6		52.2		7.4	51.7	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は，実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等							評価の観点				問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
			言語の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと				知識・技能	思考・判断・表現			選択式	短答式	記述式		県		県		
1	ー	日常生活の中から話題を決める		○							○			○				74.1		0.2	70	
1	ニ	事実と意見との関係に注意して，話の構成を考える		○							○			○				61.8		0.3	60	
1	三	中心的な部分と付加的な部分との関係に注意して，話すためのメモの構成を考える		○							○					○		52.3		2.6	60	○
1	四１	相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫する		○							○					○		78.6		2.2	70	
1	四２	目的や場面に応じて質問し，話の内容を捉える		○							○					○		58.1		5.7	50	
2	ー	文章の構成や展開を考える			○						○			○				83.7		0.5	70	
2	ニ	伝えたい事実が伝わる文章になるように工夫する			○						○					○		54.5		5.2	60	○
2	三	集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にする			○						○			○				75.5		0.7	70	
2	四	叙述の仕方を確かめて，文章を整えて書く			○						○				○			63.7		7.6	50	
2	五	集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にして書く			○						○					○		56.6		7.1	40	
3	ー	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え，要旨を把握する				○					○			○				80.8		0.3	70	
3	ニ	文章の構成や展開を捉える				○					○			○				72.6		0.4	60	
3	三	文節の区切りを理解する	○							○				○				50.8		0.4	50	
4	ー	語句の辞書的な意味を踏まえて，文脈上の意味を捉える	○							○				○				49.2		1.1	70	○
4	ニ	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	○							○				○				51.1		0.7	60	○

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等								評価の観点				問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
			言語の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと					知識・技能	思考・判断・表現			選択式	短答式	記述式		県		県		
4	三	場面の展開や登場人物の心情などについて，描写を基に捉える				○						○			○				56.2		1.3	60	○
4	四	場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈する				○						○					○		13.1		21.8	30	○
4	五	表現の仕方に注意して読み，その効果を捉える				○						○			○				65.1		1.5	60	
5	一	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	○								○				○				84.4		1.1	70	
5	二	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	○								○				○				71.0		1.1	60	

県

令和２年度 佐賀県小・中学校学習状況調査　　中学校調査
設問別調査結果[国語]２年
中学校－生徒

集計結果　　※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準（おおむね達成）	到達状況
				57.5	
県	6,785	62.1	2.7		

※ 県の結果には，「未履修：１なし」かつ「集計対象：１対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数（問）	正答率		無解答率		到達基準（おおむね達成）	到達状況
				県		県		
学習指導要領の内容・領域等	言語の特徴や使い方に関する事項	5		54.4		1.1	58.0	▼
	話すこと・聞くこと	5		72.5		1.3	62.0	
	書くこと	5		72.3		2.9	58.0	
	読むこと	5		49.4		5.4	52.0	▼
評価の観点	知識・技能	5		54.4		1.1	58.0	▼
	思考・判断・表現	15		64.7		3.2	57.3	
問題形式	選択式	14		64.7		0.8	60.7	
	短答式	1		23.0		6.9	50.0	▼
	記述式	5		62.9		7.1	50.0	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は，実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等								評価の観点				問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
			言語の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと					知識・技能	思考・判断・表現			選択式	短答式	記述式		県		県		
1	一	共通点や相違点などを踏まえて，話の内容を捉える		○								○					○		82.6		1.8	70	
1	二	論理の展開などに注意して聞く		○								○			○				56.0		0.2	50	
1	三	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，自分の考えをまとめる		○								○					○		73.4		3.9	50	
2	一	論理の展開などに注意して，話の構成を工夫する		○								○			○				77.7		0.2	70	
2	二	資料を用いて，自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する		○								○			○				72.9		0.3	70	
3	一	目的に応じて集めた材料を整理する			○							○			○				86.6		0.5	70	
3	二	自分の考えが伝わる文章になるように工夫する			○							○			○				74.3		0.5	60	
3	三	段落相互の関係を明確にし，文章の構成や展開を工夫する			○							○			○				72.0		0.8	60	
3	四	文の成分の照応について理解する	○								○				○				53.0		0.9	60	○
3	五	読み手の立場に立って，文章を整える			○							○					○		57.1		5.7	60	○
3	六	自分の考えが伝わる文章になるように，具体例を加えて書く			○							○					○		71.2		6.9	40	
4	一	文章全体と部分との関係を捉える				○						○			○				62.8		0.6	60	
4	二	単語の類別について理解する	○								○				○				40.7		0.9	50	○
4	三	文章の中心的な部分と付加的な部分との関係について叙述を基に捉える				○						○				○			23.0		6.9	50	○
4	四	文章と図表などを結び付け，その関係を踏まえて内容を理解する				○						○			○				58.6		1.2	60	○

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等							評価の観点					問題形式			正答率		無解答率		期待正答率（おおむね達成）	課題が見られる設問
			言語の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと				知識・技能	思考・判断・表現				選択式	短答式	記述式		県		県		
5	ー	登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈する				○					○				○				72.5		1.3	60	
5	ニ	登場人物の言動の意味などについて考え，内容を解釈する				○					○						○		30.3		17.3	30	
6	ー	語句の意味を理解し，文脈の中で適切に使う	○							○					○				68.3		1.1	60	
6	ニ	表現技法について理解する	○							○					○				51.4		1.4	60	○
6	三	文脈の中で語句を正しく使う（同訓異字）	○							○					○				58.4		1.2	60	○